

正誤表・更新情報

本書中に訂正・更新箇所等がございました。お手数をお掛けしますが、下記ご参照頂けますようお願い申し上げます（2020年6月5日）

■第1版 第1刷（2020年4月9日発行）の修正・更新箇所

頁	場所	修正前	修正後	補足	掲載
第7章-1 運動系 筋力					
146	3 徒手筋力テスト (MMT) F) 腓腹筋 【検査法】	② 検者は背屈する方向に力を加えることで 前脛骨筋 の筋力を判定する。	② 検者は背屈する方向に力を加えることで 腓腹筋 の筋力を判定する。		20/06/05
146	3 徒手筋力テスト (MMT) F) 腓腹筋 【判定】	・障害がみられる場合、脊髄中心レベルは L4 である。	・障害がみられる場合、脊髄中心レベルは S1 である。		20/06/05
146	3 徒手筋力テスト (MMT) G) 前脛骨筋 【検査法】	② 検者は底屈させる方向に力を加えることで 腓骨筋 の筋力を判定する。	② 検者は底屈させる方向に力を加えることで 前脛骨筋 の筋力を判定する。		20/06/05
146	3 徒手筋力テスト (MMT) G) 前脛骨筋 【判定】	・障害がみられる場合、脊髄中心レベルは S1 である。	・障害がみられる場合、脊髄中心レベルは L4 である。		20/06/05
第5章-1 脳神経系 嗅神経の診かた					
97	3 検査の種類 A) においの検査	顔面神経の運動枝は顔面筋の筋力低下をよく反映するため、比較的容易に判定できる。		割愛	20/05/08